

最先端植物科学シリーズセミナー

寄生植物はどうやって宿主を見つけ 寄生するのか

吉田 聡子 博士

奈良先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科
バイオサイエンス領域
教授



日時：2022年8月4日（木）16:00～17:30

場所：坂田・平田ホール（理学部南館1F）

ストライガなどのハマウツボ科寄生植物は、作物に寄生し大きな農業被害をもたらしている。寄生植物は、吸器と呼ばれる寄生器官を形成し、宿主植物に侵入し、宿主と維管束を連結させて栄養を獲得するが、その寄生メカニズムはほとんど解明されていない。私たちは、日本に自生するハマウツボ科寄生植物コシオガマを用いたモデル実験系を構築し、寄生の分子メカニズムの解明を試みている。ゲノム解析や変異体を用いた解析、ケミカルスクリーニングなどの手法を用いて明らかになってきた、寄生植物が宿主に寄生する仕組みについて紹介する。

世話人：理学研究科 松林 嘉克 (matsu@bio.nagoya-u.ac.jp)

共催：研究大学強化促進事業・最先端国際研究ユニット
「最先端情報分子・植物最適行動統御ユニット」